



令和4年度 第1号
常磐野小学校 校長室だより
令和4年5月13日発行 文責 清川 秀一



青葉を吹き渡る快い風が吹く頃となりましたが、保護者・地域の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、新年度がスタートして1ヶ月が過ぎました。1年生の児童も学校に少しずつ慣れてきたころかと思います。学校での教育活動も本格的にスタートしたところで、本校の学校教育目標について、お伝えしたいと思います。

学校教育目標

～次世代を生き抜くために～ しなやかに考え、温かい心をもち 人間力の豊かな子を育成する

学校教育目標は児童が将来生きていくために、どのような教育を目指していくのかを示したものです。先行きの見通しが持てない時代を生きていくために必要なことは何かを考えたとき、児童には柔軟な思考（しなやかに考える力）をもつことで、時代の変化に対応していく力をつけたいと考えています。そして、温かい心で周囲の人間と協調しつつ、豊かな人間関係を築くことで、より良い生活を送ることができる資質を身につけさせたいという願いを学校教育目標に込めています。

ときわのの子（めざす子ども像）
と 友だちも自分も大切にする子
き きまりを守る子
わ わかった、できたを目指す子
の のびのびと元気な子

「めざす子ども像」については以下の意味を込めています。

- ・自己肯定感を高く持ち、周りへの気遣いをできる子を目指す。
- ・さまざまなきまりを守り、安心できる生活につなげる子を目指す。
- ・ねばり強く、最後まであきらめずにやり抜く子を目指す。
- ・健康に気を付け、進んで運動する子を目指す。

学校におけるすべての教育活動は学校教育目標の実現を目指すものとなります。しかしながら、多様な現代社会においては学校だけで子どもたちの教育を行うのではなく、地域社会と連携した教育を進める「社会に開かれた教育課程」が学習指導要領に示されています。そのため、保護者の皆様、地域の皆様には常磐野小学校の学校教育目標を知っていただき、その実現にご協力を頂きますよう、よろしくお願いいたします。